

# 期待されるわが市の婦人教育

## 白河市教育委員会

### 一、白河市の概況

「シラガー」とは、アイヌ語で塞の意味、ここから白河の名が生まれたとい  
い、また「白河の関」の下を流れる白  
川という小川が雨が降ると上流の白土  
が流れて白く濁るところから白河の名  
が生まれたともいう。千五百年も前の  
話。明治二十二年町制が敷かれ、昭和  
二十四年、近効四か村と古関村の一部  
を合併して現在の白河市となる。人口  
四万二千余人、戸数一万五千余戸を数え  
る。成人の婦人一万一千、うち婦人団  
体に加入している者二千百三十七名、  
婦人全般を通じて、何らかの形で就職  
している人が約七〇%である。

二、白河市における婦人教育基本構想  
(一)すでに開設している婦人大学、婦人  
学級、婦人講座等の内容の充実を図



消費者教育懇談会風景



家政教育の学習風景

- (二)年代別学級の開設。  
(三)継続学級の自主開設学級への切り替  
えをすすめ、ボランティア学級とし  
て実践活動を奨励する。  
(四)婦人の生活を豊かにするため、既設  
の料理、手芸、生花等の学級の内容  
を充実させる。  
(五)婦人団体の活動を円滑にし活発にす  
るために  
1 未組織婦人団体地区への助言指導  
2 婦人団体の学習活動への指導助言  
3 婦人団体の連絡提携への指導助言  
等について、適切な方策をたてる  
ようにする。  
(六)婦人教育の振興を図るためには、婦  
人教育指導者、後継者育成もおろそ  
かにできない。そのために、

- 三、白河市における婦人教育の現状  
(一)市教育委員会  
○県主催各種婦人教育研修会への積  
極的参加。  
○他地区との交歓研修の開催  
○研修会等修了生のつどい等をすす  
める。

### (二)中央公民館

事業名	対 象	開 催	財源	人 数	開 場	備 考
生花教室	一般婦人	五月、二月	自主財源	三十一名	中央公民館	
料理教室	右	六月、二月	右	三十五名	右	
手芸教室	右	五月、二月	右	十九名	右	
婦人大学	右	四月、二月	右		右	
家政教室	天神町婦人 登り町婦人	月回	右	七十二名	右	
くみ組教室	一般婦人	九月、十月	右	四十名	右	
茶道教室	右	五月、八月	右	十五名	右	
和裁教室	右	五月、六月	右	四十七名	右	

事業名	対 象	開 催	財源	人 数	開 場	備 考
新町婦人学級	地内婦人	月一回半 年間二十時間	補助	四十三名	九番町 自治会館	夜七時 一九時
小田川婦人学級	地内婦人 (小田川)	月一回半 年間二十時間	補助	八十七名	小田川公民館	夜七時
乳幼児教育学級	市全域 乳幼児を もつ母親	月一回半 四月、十二月 二十四時間	補助	三十二名	白河市立 第一児童館	午前 十時 十二時
昭和町婦人学級	地内婦人 昭和町	年六回	運営	四十二名	昭和町 生活改善セ ンター	夜七時 一九時
双石婦人学級	地内婦人 (双石)	年六回	自主	五十七名	双石公民館	夜七時 一九時